安富町魅力発信紙

やすとみびより

vol.8

秋空が高く澄み渡る頃、
ホスピタリティあふれる
グリーンステーション鹿ケ壺を訪ねた。



LOOK!
やすとみびより
Website & Instagram
随時更新中！

Website　Instagram

2021年11月発行
発行者：地域おこし協力隊
臼井 千夏

※取材時は感染症対策に万全を期しております。取材をさせて頂く皆様には撮影時の一瞬のみマスクを外して頂きました。

グリーンステーション鹿ケ壺



安富町の北部、関地区にあるグリーンステーション鹿ケ壺(以下GS鹿ケ壺)は広大な敷地内にキャンプ場や宿泊コテージ、BBQサイト等を有するアウトドア施設です。敷地内のふれあい交流センター(通称：鹿ケ壺山荘▶写真右)には食堂や売店もあります。また、周辺には名勝鹿ケ壺や三ヶ谷の滝、千畳平などのスポットもありハイキングコースが整備されているのでGS鹿ケ壺を拠点に活動することができます。今回は支配人の早柏 秀樹さんにお話を伺いました。

GS鹿ケ壺での過ごし方は様々。ハイキングをしてから食事、コテージに宿泊をしてBBQ、川遊びをして気軽にキャンプなど、老若男女問わずに楽しむことができ、四季折々の自然を満喫できることが魅力です。「アウトドア初心者から上級者、お一人様からご家族連れまで幅広い方々に来て頂いており、リピーターも多いです。皆様が楽しく安全に過ごせるよう出来る限りのサポートさせて頂いています」と早柏さんがお話してくれました。





▲写真左上：7人用・10人用のコテージはログハウス調で室内は木の良い香り。「バリアフリーの棟もあり、広く開放的な造りが自慢です」と早柏さん。▲写真右上：オートキャンプ場。一区画ごとに水道・電源が備わっています。「密を避けて、自分達だけで楽しめるキャンプは昨今とても人気です。キャンプ場は平日はおひとりの方、休日には家族連れで冬場でも賑わっています」と早柏さんが教えてくれました。







▲写真左下：ふれあい交流センター内の売店では安富町の特産品も購入でき、取材の時期には柚子や新米が並んでいました。▲写真下中央：木の温もりを感じられるBBQサイト。屋根付きなので雨天時や猛暑日でも快適です。▲写真右下：敷地内の北側に位置するふれあいの館。安富町安志の醤油醸造場として江戸時代(享保2年)に建てられたものをこの場所に移築。なまこ壁の趣のある建物は展示会やコンサート会場としても利用できます。

「今後は、地域の休耕田を活用した農業体験イベントを開催できればと思っています。イベントで野菜を収穫→GS鹿ケ壺でキャンプ→自分で収穫した野菜で料理といったような流れで楽しんで頂ければ」と早柏さんが語ってくれました。

イチオシ 食堂メニュー

ふれあい交流センター内にある食堂では、安富町の食材を沢山使った
油控えめでヘルシーなメニューを楽しめます。厳選３品をご紹介。

山かけそば

¥700(税込)



食堂の目玉はなんと言っても山の芋を使用したふわふわの"とろろ"。喉越しの良い蕎麦との相性は抜群。ほどよい味付けのつゆでサラサラッと食べられる一品です。

麦とろ定食

¥800(税込)～



麦とろに焼鳥とお味噌汁が付いたAセット、半うどんor半そばが付いたBセット、お味噌汁が付いたCセットがあります。写真はBセット。いずれもご飯のおかわりは3杯まで無料と大満足の定食です。



それぞれに付いてくる季節野菜のおかずは素材を活かしたやさしい味わい。

白雪ぜんざい

¥500(税込)
(食後は¥400(税込))



一般的なぜんざいとは白と黒の色が反転した面白いぜんざい。小豆や餅の柔らかさにこだわった、ここでしか味わえない一品。使用されている白小豆、もち米、お餅の色付けの紫黒米と全て安富町産を使用。添えられた特産品の柚子を使った手作りマーマレードが箸休めに◎



information

グリーンステーション鹿ケ壺
〒671-2416
兵庫県姫路市安富町関775
TEL：0790-66-3505　※火曜定休

Website　Instagram　360° VRでコテージの中を見られます　Google Map

編集後記

木々の葉が鮮やかに色づき始めた頃、グリーンステーション鹿ケ壺を訪ねました。四季折々で表情を変える安富町の自然と、スタッフの方々のおもてなしがとても心地の良い場所でした。撮影にご協力を頂きありがとうございました。